



# 七尾中学校 学校だより 七尾の丘

Seven tails Story 七つの尾の物語を創り上げよう！



マスコット“七王” (ななおう)

第5号

令和6年9月2日  
廿日市平良二丁目2-34

TEL:0829-32-8200

## 2学期がスタートします

### ～始業式式辞～

生徒の皆さん、おはようございます。令和6年度の2学期がスタートしました。こうして、みなさんが生きて登校してくれたことをうれしく思います。

とはいえ、3年生の皆さんは実質、8月22日(木)から登校してくれていますし、2年生もキャリア・スタートウィークに取り組んでくれました。1年生も29日(木)から登校してくれています。皆さんの立場に立つと、「もう2学期は、始まっとるじゃん」という気持ちかもしれません。

夏休みにあったニュースで最も大きなニュースの一つがパリオリンピックでの日本人選手の活躍でしょうか。やり投げで金メダルをとった、北口榛花選手の喜びや、9年ぶりにメダルをとった馬術団体「初老ジャパン」の活躍は校長先生的には印象に残っています。しかし、それ以上に印象に残っているのは男子バレーがあと一步のところまでメダルに届かなかったことや、柔道個人戦で阿部詩選手が2回戦で敗退し、その場で泣き崩れたシーンです。

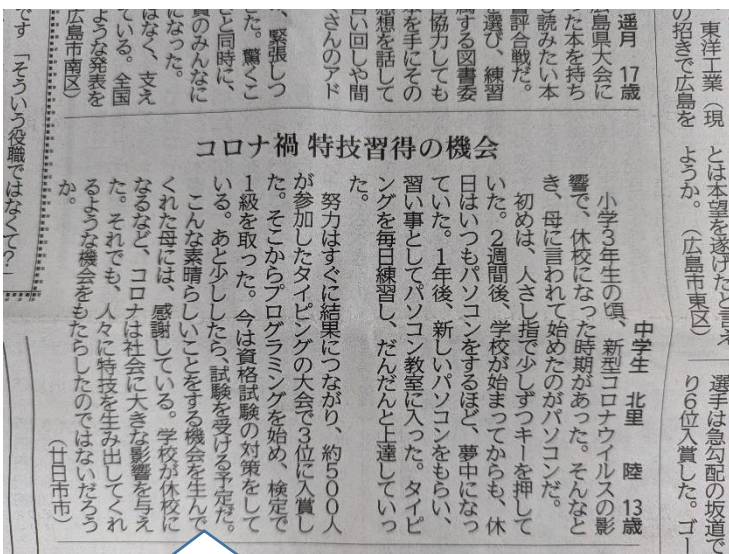


皆さんも同様だと思うのですが、生活をしていると、理想的な結果や自分の思い通りの結果になることよりも、自分の思い通りにならず、悔しい思いをすることのほうが多いのです。ですから、校長先生は、負けた人の立ち居振る舞いから学ぶことが多いと思うのです。特に、阿部選手は敗退し、号泣したことで、日本国内の心無い人からバッシングを受けました。また、そのことがアスリートに対する、ネット上での誹謗中傷として問題になりました。おそらく、阿部選手を誹謗中傷した人たちは「オリンピックとはこうあるべきだ」という理想形があり、阿部選手の立ち居振る舞いが理想形でなかったことで、バッシングしたいという気持ちを止められなくなったのでしょうか。自分の正体をさらすことなく、他人を攻撃できるネットの現実と

「こうあるべきだ」という空気を重んじる日本社会の閉塞感を感じる出来事だと思います。校長先生個人の考えでは、あれだけ泣くことができるというのは、それだけ努力した証です。阿部選手はなんら恥じることはないと思います。

さて、2学期は文化祭に修学旅行、宮島学習など大きな行事が目白おしです。そんな中で、校長先生が特に注目しているのが、来週から取り組みが始まる、「FUW～フリーユニフォームウィーク」いわゆる自由服週間です。この間、生徒会執行部のみんなが起草してくれたルールに則り、制服でない服装でも登校しても良い週間となります。ねらいは「自己指導力」を伸ばすことです。「学校はこうでなくてはならない」という、形をあえて取り外すことで、学校生活のありようを考えてもらいたいと思います。もちろん、私服で登校してもよいと言われても、迷ったり、周りの目を気にする仲間、いわゆる「空気」を気にする仲間もいるでしょう。そこで、校長先生は一足早く明日から一人FUWを始めます。校長先生自らが、ラフな格好で登校するので話題にしてください。では、2学期も学びの「轍」を伸ばしましょう。以上で2学期の式辞とします。

# トピックス



1-3 北里 陸 君の投稿文が8月23日（金）中国新聞のヤングスポットに掲載されました。北里君はコロナ禍での時間を活用して、パソコンのタイピングやプログラミングに挑戦したこと。そのことを通して、時間を活用することが自分自身の成長を促すことを私たち教えてくれているように思います。まさに「タイムイズマネー」。私も見習いたいと思います。今後、本校生徒の投稿文がヤングスポットに紹介される予定とのこと。楽しみです。



原小学校での体験の様子

8月27日（火）～29日（木）の3日間、職場体験学習を実施しました。台風の接近により学習が危ぶまれましたが、何とか実施できました。この写真は原小学校での体験の様子で、算数の教材を作っているところです。その他にも、教室の飾り付け、グラウンドの整備などたくさんの業務を体験したようです。それぞれの生徒が地域の事業所に出向き、接客や商品管理など、日ごろ目にすることができない仕事を体験しました。この学習をふり返り、自分の進路を考える材料にしてもらえたら幸いです。

## どう思う？



「いじめ深刻 中国 AI 警報も」。これは、8月27日（火）の中国新聞に掲載された記事です。記事を読むと中国でも「いじめの問題」が深刻で、それも想像以上の深刻さだということがわかります。そして、いじめを抑止するために「AI 警報機」を導入したというのです。生徒が「助けて」とか「たたかれた」などと声をあげたらAIがそれを探知し、学校責任者に通報するという仕組みだそうです。さて、生徒の皆さんはこのシステムをどう思いますか？このシステムが、みんなが安心して生活できる学校づくりの一助となるのか？このニュースの続編があったら楽しみです。七尾中学校ではハートフルプロジェクトなど、皆さんの力で、いじめを抑止してほしい。校長先生はそう願っています。